

埼玉支店
業務課係長
木崎 大輔



サステナビリティ経営へシフトし 支店から明るい未来を切り拓く

| 40年の知見を活かし地域社会に貢献 埼玉支店について教えてください。

埼玉支店は、昭和59年（1984年）の事務所開設以来、40年以上にわたり所沢市で活動を続けてきました。現在、支店全体では245名（支店員13名、現場従業員232名）が勤務しています。

どのような業務を担っていますか？

埼玉県内の庁舎、大学、ミュージアム、スポーツ施設など23の施設を管理しており、警備・清掃・設備管理・施設運営など幅広い業務を担っています。埼玉支店には、豊富な経験を持つスペシャリストが多数在籍しています。従業員の力を結集し、地域との連携を強化しながら、さまざまな課題解決に取り組んでいます。

| 埼玉の官民連携でSDGsに貢献

埼玉支店のSDGs活動について教えてください。

埼玉支店では、支店全体で高い意識をもち、日々の業務のなかでSDGs活動を実践しています。また、埼玉県や所沢市のSDGsへの取り組みに賛同し、さまざまな活動に積極的に参加しています。SDGsを推進するにあたっては、日々の業務を見直すことから始めました。まず「すでに取り組んでいること」と「継続できること」を整理。それから、SDGsの目標を明確にして、達成に向け全従業員でコツコツと取り組んでいます。

どのようなSDGs活動に取り組んでいますか？

私たちは「所沢市脱炭素経営賛同宣言」に賛同し、ゼロカーボンシティの実現を目指した脱炭素経営に取り組んでいます。また、「埼玉県SDGsパートナー認証」を取得し、県内企業と連携してSDGsの普及促進に務めています。さらに、「埼玉県健康経営実践事業所」として認定を受け、従業員の健康を考慮した経営を推進しています。これら3つの取り組みで、SDGsに貢献しています。SDGsの目標に当てはめると、目標7「エネルギーをみんなにそし

てクリーンに」目標11「住み続けられるまちづくりを」目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」などが該当します。

それぞれの具体的な活動内容についても教えてください。

脱炭素経営に関しては、「環境配慮型車両の導入による省エネルギー推進」や、「管理現場での環境負荷低減策の実施」「樹木剪定時の廃材を活用したウッドチップの舗装材化」、そして「施設の電気使用量の適正管理による省エネルギー運営の実施」などに取り組んでいます。また埼玉県SDGsパートナーとして、これらに加え、地域清掃の実施や地域経済への貢献にも力を入れています。さらに、埼玉支店では健康経営を掲げており、従業員の健康診断の受診率向上を図るとともに、食生活の改善や受動喫煙対策、感染症予防、長時間労働の是正、メンタルヘルスケアなど、総合的な健康支援に取り組んでいます。従業員の心身の健康があってこそ、地域社会とSDGsへの貢献が叶うと考えています。

SDGsを実践するうえで、課題に感じていることはありますか？

各部門や現場での取り組みを、支店の全従業員に水平展開することに難しさを感じています。とはいえ、従業員間のコミュニケーションを強化し、マルチなスキルを発揮できる環境を整備することで、どのような課題も乗り越えられると確信しています。「協業イズム」を武器に、支店全体でSDGsの実践を深化させたいと思います。

| サステナビリティ経営で明るい未来へ

今後の展望や目標を教えてください。

埼玉支店は、40年間の成長を支えてきた先輩方の尽力を礎に、今日の発展に至りました。これからは、SDGsを意識しながら、社会とともに持続的に成長するサステナビリティ経営へとシフトします。社業と同様に、支店でも着実に実践を重ね、明るい未来を切り拓いてまいります。